

## 平成 23 年度鳥獣被害対策の取組概要について（屋久島町）

## (1) 捕獲器・くくり罠購入実績等

捕獲器購入数（シカ 8 基、サル 16 基・シカくくり罠 50 基）

今後購入見込み数（シカ 10 基、サル 10 基、シカくくり罠 30 基）

## (2) 免許取得者への助成

鳥獣被害防止総合対策交付金事業を活用した狩猟免許取得促進。（高齢化や担い手不足の解消を図る）

※ 平成 23 年度免許取得者

わな免許（甲） 20 名（内、口永良部島 6 名）

銃器免許（乙） 2 名

・本年度については、鳥獣被害防止捕獲促進事業（鹿児島県）を活用。

狩猟免許取得者の増加によって、今後の捕獲頭数増加が期待されるところであり、地域一体となった捕獲体制の整備・充実を図っていく。

## (3) 被害防除の取り組み

1. 侵入防止柵（電気柵）等の設置については、鳥獣被害防止総合対策交付金事業等を活用して以下のとおり実施中。

① 永田地区シカ柵（9, 100M）

② 口永良部島シカ柵（2, 000M）

③ 平内地区サル・シカ用電気柵（1, 125M）

2. 昨年度、要望調査を実施したところ、約 60 km の要望があったため、財政面等も考慮しながら、長期的計画を作成する必要性が生じた。

そこで、本年度より効率的且つ効果的な対策を講じるための検討を始めた。

## (4) 捕獲に対する助成

## 1. 有害鳥獣捕獲対策補助金

鳥 獣 名	捕獲補助金（単価）	備 考
サ ル	7, 000 円	H22 年度より 2 千円増額
タヌキ	3, 400 円	〃
カラス	400 円	〃
ヒヨドリ	400 円	〃
シ カ	5, 000 円	H22 年度より新規

※ 特にシカについては、捕獲補助金の新設に伴い、捕獲頭数の増加も図られている。

## 平成23年度有害鳥獣捕獲実績

鳥獣名	H23 捕獲計画	H23 捕獲実績 (4～9月分)
サル	1,200	428
シカ	1,100	723
タヌキ	70	56
カラス	500	61
ヒヨドリ	5,000	0

### 2. 猿害等防止対策巡視業務による捕獲強化

- ① 猟友会が実施する巡視業務の強化を図った。
- ② 発生予察による有害鳥獣捕獲を実施することで早急な対応が図られた。

#### (5) モニタリング調査について

- ・ ヤクシカの生息数増減についてのモニタリング調査については、屋久島生物部が継続実施。(長峰牧場周辺・愛子岳周辺・西部林道)
- ・ 今後の対策を講じていく観点からもモニタリング調査は必要不可欠。

#### (6) 捕獲体制及び安全対策について

##### ① 捕獲実施の迅速化

- ・ 集落区長からの通報により、被害発生の事実確認(電話・FAX)が出来次第、猟友会に対して捕獲依頼をし、迅速な捕獲を実施。
- ・ 有害鳥獣被害発生予察表を基に、関係者(野菜・果樹部会長)との連絡調整を図りながら、予察による捕獲を実施。

##### ② 平日のシカに対する被害対策について

- ・ 平日の(シカ)捕獲においては、捕獲エリアを明確にし、捕獲を実施。
- ・ 空港内や電気柵等の中において、山林以外で緊急を有する場合においては、その都度対応。

##### ③ 関係者一体となった取組

今後も屋久島町野生動物保護管理ミーティング及び各種会議等を通じて情報を共有し、国・県・町・集落が一体となった取組を実施していく事が重要。